



2022年7月5日
株式会社 阿波銀行

三好観光有限会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、三好観光有限会社（代表取締役 谷藤 洋平、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	三好観光有限会社
所在地	徳島県三好市池田町ウエノ 3050 番地の 1
代表者	谷藤 洋平
業種	レストラン・精肉加工販売業
設立	1977 年 6 月 27 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月5日



三好観光有限会社 代表取締役 谷藤 洋平

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	①過剰包装の廃止	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 13 気候変動に具体的な対策を
			②2022年度中にレストランおよび精肉部門の梱包簡易化	 12 つくる責任 つかう責任	
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	①地元産和牛の販売、館内の産直市にて地元農産物、工芸品や手作りパン等の提供	 11 住み続けられるまちづくりを	
			②月1回イベントを実施	 17 パートナシップで目標を達成しよう	
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため様々な地元人材の活用を推進します。	①シニア枠人材新規採用	 8 働きがいも経済成長も	
			②2023年度までにシニア枠人材1名採用（現在70歳以上2名雇用中）	 11 住み続けられるまちづくりを	
環境・社会	フードロスの削減	フードロスの削減に向けて、企業として取組みを行い、フードバンクやフードドライブを積極的に推進します。	①食品ロスの削減	 12 つくる責任 つかう責任	
			②2023年度までに廃棄物発生量の実態把握、削減目標値を設定	 13 気候変動に具体的な対策を	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。